

平成28年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号

局・課名： 健康福祉局・環境薬務課

事業名	シンナー・覚醒剤等乱用防止啓発事業	事業費(千円)	平成26年度決算額 958	平成27年度予算額 1,185	平成28年度要求額 1,241	
事業概要	【目的】	債務負担行為	期間		要求額(千円)	
	H ~ H					
	シンナー、麻薬、覚醒剤をはじめとする薬物は、乱用すれば生命身体に半永久的弊害をおよぼし、さらには社会的にも重大な弊害を生ずる。近年の薬物乱用の低年齢化と、危険ドラッグによる健康被害が社会問題となっていることを考慮し、これらの薬物に対する正しい知識と薬物乱用の危険性を市民(特に青少年)に周知啓発する。	主な要求内容		(単位:千円)		
		項目	27年度予算	28年度要求額	内容・積算等	
		啓発用物品等	710	710	配布物品、リーフレット、啓発冊子等	
		冊子の印刷製本	400	500	薬物乱用防止啓発用冊子	
		研修会出張費	75	31	薬物乱用防止中堅指導員研修会(東京)	
		合計	1,185	1,241		
	【内容】	スケジュール(経過及び今後展開)				
	・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動として、大阪府と連携して街頭キャンペーンによる啓発を実施。 ・市内各区で行われる「区民まつり」等でパネル・ビデオ等を用いて主に若年層を中心にクイズを用いた啓発を実施。 ・市内学校での薬物乱用防止教育への支援として、ビデオ・パネル・薬物標本等を貸し出し、冊子・リーフレットを提供する。また学校等からの依頼により、啓発指導者に対して講習を実施。 ・広報紙、HPでの啓発とともに、パネル展示・横断幕や懸垂幕の掲示を実施。	【経過(～27年度)】 小学生用冊子・中学生用冊子を製本し依頼のある学校へ提供。新たな形態の危険ドラッグに対して、啓発を強化。	【28年度】 事業の継続実施 危険ドラッグ啓発資材等を作成	【今後予定(29年度～)】 事業の継続実施		
【今年度要求のポイント】 危険ドラッグの関係する事件・事故が後を絶たなく、大きな社会問題となっている。青年期からの薬物乱用防止教育が重要視されているため、中学生・高校生向け啓発冊子を作成し、市内中学・高校に対して提供を行い、青少年に対する薬物乱用防止教育を強化する。						
その他 特記事項 みんなの審査会対象外 関連事業： 平成28年度より、環境衛生指導費に事業を移行。						

整理番号： 11 - 3 - 1290